

令和6年度 第2回 平塚市図書館協議会 会議記録（要旨）

開催日時	令和6年11月7日（木）14時30分～16時
開催場所	平塚市中央図書館3階ホール
出席者	委員 西田 洋平 会長 久保田 幸子 副会長 設楽 純江 委員 渡邊 容子 委員 森谷 芳浩 委員 甲木 なな子 委員 事務局 石川 社会教育部長 藤田 中央図書館長 熱田 管理担当長 仁和 奉仕担当長 市楽 総括責任者兼南図書館長 小泉 北図書館長 関山 管理担当主査 渡邊 管理担当主査
欠席者	なし
傍聴人	2名

1 議 事

（1）今期の重点協議事項の検討

平塚市子ども読書活動推進計画（第5次）素案について

事務局から資料の説明

【 会 長 】	数値など、目標のあり方を変えたのは、何か意図があるのか。
【 事 務 局 】	計画の目標について、具体的な数値や割合を設定せず、各取組の状況や実績から達成具合を把握したいと考えている。今後、必要に応じて、アンケートなどを実施することで現状を把握したい。
【 会 長 】	素晴らしい理念がまとまっている。数値などの目標があると、更に分かりやすくなるのではないか。実際に具体化するとき、考えないといけないことが出てくる。
【 副 会 長 】	ブックスタートは今でも実施しているのか。
【 事 務 局 】	現在、中央図書館と地区図書館3館に加えて、不定期でつどいの広場「きりんのおうち」で実施している。
【 会 長 】	ブックスタートは、対象の方へどういった手段で周知をしているのか。
【 事 務 局 】	対象月齢のお子さんのいるご家庭に葉書を送付している。
【 副 会 長 】	バックも配付をしているのか。
【 事 務 局 】	ブックスタートパックとして、バッグの中に、保護者が選んだ絵本とブックリスト、ブックスタートについての冊子、おはなし会のチラシなどをセットにして配付している。
【 委 員 】	「家庭への読書啓発」という新規施策があり、「読書啓発チラシの配布」を取組としているが、具体的にはどういった形で配布をするのか。
【 事 務 局 】	関係各所と協議中だが、各図書館や保育所、赤ちゃん訪問などで家庭をまわっている保健師から配布をしてもらうことなどにより、啓発を進めたい。
【 委 員 】	重点取組1から3は、国の第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を基にしているが、具体化するためにどう進めていくのか。
【 事 務 局 】	例えば、重点取組3の「子どもの視点に立った読書活動の推進」であれば、ワークショップなどのイベントに参加した子どもたちや、図書委員の子ども

	たちなどに直接意見を伺って、施策に反映させていきたい。
【 委 員 】	他自治体で実施している取組も情報収集した上で、参考となるものを採用して、進めていくのがいいのではないかと。
【 会 長 】	ぜひ検討してほしい。学校図書館でも、学校によって、子どもたちへの意見収集方法が異なる。そうした部分は中央図書館が中心となり、学校図書館の司書との情報共有を進めれば、いい動きが広がると思う。
【 委 員 】	バリアフリー資料（児童書）の充実という施策があるが、対象者は障がいをお持ちのお子さん以外に、外国籍のお子さんを対象としているのか。
【 事 務 局 】	外国語を母語とするお子さんも対象としている。多言語への対応も充実させたい。

ア 学校図書館との連携

(ア) 学校司書や図書ボランティアとの連携強化

事務局から資料の説明

【 会 長 】	ブックトークの講座開催のきっかけが、学校司書のグループからの要望だったのは、素晴らしい。どのような経緯で要望が伝わったのか。
【 事 務 局 】	学校司書の方から、子ども読書活動推進協議会の代表者会議後に講座開催について相談があった。
【 会 長 】	気軽に話ができる中で、生まれるものもあると思う。そうした場を図書館で作っていただけるとよい。
【 副 会 長 】	子ども読書活動推進協議会の代表者会議に出席していて、有意義な意見交換ができています。その中で、複数のサン・サンスタッフ（学校司書）からの意見として、学校司書が不在の時間帯では、図書室が施錠されており、入室できないとの話があった。常に図書室は開放されており、いつでも子どもたちが本を手にとることができる環境が望ましいと考えています。
【 委 員 】	中学校では、普通教室以外の特別教室において、生徒が無断で入らないように施錠をしている。図書室だけを特別に開放しておくのは難しい。
【 委 員 】	小学校では、図書室を開放しているところもあるが、各学校の運用によって、その判断が異なっているのが現状である。
【 副 会 長 】	教室に行くことが難しい不登校の児童や生徒の息抜きや逃げ場所として、図書室が機能できるといい。常に開放されていることで、子どもたちに安心感を与えることができるのではないかと。
【 会 長 】	学校司書は、週に何回来ているのか。
【 委 員 】	週に2回、昼休みの時間帯に合わせて出勤している。
【 委 員 】	学校において、図書室がどこに配置されているかによる部分も大きい。例えば、職員室に近い1階にあれば、開放しやすいのではないかと。逆に、人の目が届きにくい場所にあると、安全上の不安がある。
【 副 会 長 】	小学校では、教室内の学級文庫を充実させることで、わざわざ図書室に足を運ばなくても、読書ができる工夫をしている。ただ、図書室があっても、常に開放されていないというのは、勿体ないと思う。
【 会 長 】	各学校において、児童・生徒の安全上の観点から、施錠せざるを得ない事情も理解できる。ただ、常に読書ができる環境整備という面で、図書室の開放について、うまく対応している学校もあるかもしれない。

イ 平塚市図書館全体の効果的な運営

(ア) 電子書籍の充実

事務局から資料の説明

【 会 長 】	学校現場での電子書籍の利用状況はどうか。
【 委 員 】	小学校では、図書館部会で先生への研修があり、積極的な活用を図っている。低学年の児童には先生による読み聞かせ、中学年の児童は、電子書籍を実際に触って、各自読書に使用している。高学年の児童は、授業と連動して調べ学習に活用できている。
【 委 員 】	中学校では、昨年度、道徳の授業で電子書籍を活用し、資料の検索を行った。ただ、希望する本が見つからなかったようで、十分に検索機能を使いこなせていないようだった。
【 会 長 】	電子書籍の使用や機能などについて、意見や要望を聞いてくれる仕組みがあるとよい。また、電子書籍を充実させることで、図書室が空いていない際の読書の補完機能となりうる。
【 副 会 長 】	小学校や中学校でも、子どもたち一人ひとりに1台ずつ、タブレット端末が提供されているのであれば、休み時間に読書ができるし、家庭でも使える。
【 会 長 】	読書ではなく、動画の視聴やゲームも可能なのか。
【 委 員 】	機能については制限があるので、自由には使用できない。
【 副 会 長 】	現在の大学生は、本を読んでいるのか。
【 会 長 】	司書課程の学生は、一般的な学生よりも本自体に興味を持っているが、全体的に見た場合、多いわけではない。

(2) 報告事項

ア 事業報告

(ア) 令和6年度3館コラボ企画「知りたいものいっぱい！」

(イ) 令和6年度子ども読書活動推進プロジェクト（第1回）

(ウ) 令和6年度一日図書館員

(エ) TOKAI グローカルフェスタ2024

事務局から資料の説明

【 副 会 長 】	TOKAI グローカルフェスタの開催について、周知はどう進めたか。
【 事 務 局 】	主催は東海大学であり、ホームページが中心。作成したチラシも配布している。平塚市は後援であり、広報ひらつかに掲載した。
【 副 会 長 】	小学校や中学校、保育所にチラシを配布すると、地域に伝わりやすい。
【 会 長 】	子ども読書活動推進プロジェクトでは、参加者が16名とのことだが、対象年齢などはあったのか。
【 事 務 局 】	今回のイベントは、対象を小学校低学年から中学年とした。低学年の児童を中心に参加があり、就学前の幼児のきょうだいも参加していた。申込者数が多く定員を超えたため、参加できない子もいた。
【 副 会 長 】	一日図書館員も同様で、参加できなかった人数を考えると、人数の枠自体を多くできるか考えてもよい。
【 委 員 】	一日図書館員は、どのくらいの体験時間なのか。
【 事 務 局 】	体験時間は1時間30分程度。午前か午後を選択してもらおう。毎年、申込が

	多く、できるだけ多くのお子さんを受け入れるように努めている。
【副会長】	小学生にとって、毎年楽しいイベントである。ぜひ継続してほしい。
イ 状況報告	
(ア) なぎさふれあいセンター（南図書館）の大規模改修工事	
(イ) 南図書館と中央図書館の改修スケジュール及び進捗状況 事務局から資料の説明	
【副会長】	南図書館にも勉強できるスペースがあるとよい。また、小さいお子さんのエリアと分けて、落ち着いた環境に整備できるとよい。
【事務局】	机と椅子は増やす予定で考えている。また、静と動でエリアを分けるようなイメージでレイアウトを検討している。新聞と雑誌のコーナーを移動する。
【委員】	南図書館2階の市民交流スペースの利用イメージとして「おしゃべり」があるが、読書や仕事、学習とは相容れないのではないかと。
【事務局】	共存することは難しいので、実際には時間帯やイベントなどで、使用目的を区切るようになる。
【会長】	南図書館2階は、すべてのエリアが市民交流スペースになるのか。
【事務局】	南図書館2階の元々事務所だった一部の区画を市民交流スペースとするので、同時に様々な利用用途をカバーできる広さではない。その時の状況によって、フリースペースに近い使い方を想定している。
【会長】	中央図書館の改修工事が始まる際には、また検討しないといけないことが発生すると考えられる。南図書館の休館中には、代替するサービスがあるか。
【事務局】	駅前市民窓口センター内の平塚駅前予約図書受取所について、規模を拡大する予定で、場所を検討している。決定すれば、周知するようにしたい。
【副会長】	規模を拡大する場所は、借りるということか。
【事務局】	公共施設は駅前には無いので、借りることになる。改修期間中における臨時的な設置になると考えている。
【事務局】	図書館と同様の広さを確保することはできないので、その中で限られたサービスを提供することになる。ただ、改修期間中につき、利用者が多くなると想定されるので、予約した本の受取以外でも、サービスを充実させたい。
【副会長】	南図書館と中央図書館の改修工事中の代替場所として、何度も移動するようなことがないように、長く滞在できる場所が見つかるとうい。
【事務局】	長期間にわたるため、1か所に留まるのは、現状だと難しい。ただ、利用者の利便性を損なわないようにサービスを提供できるよう準備を進めたい。
【会長】	全体をとおして、意見があるか。
【委員】	学校の図書室の件で、サン・サンスタッフの出勤を週2日から増やすことはできないのか。
【事務局】	ここで回答することは難しい。内容は、所管部署へ伝えるようにする。
【副会長】	サン・サンスタッフを配置しなくても、学校の図書室を開放できる体制づくりができるとよい。
【会長】	授業をしていない先生が対応するなどの方法もあるが、現実的には難しい。図書室の開放は、安全上の観点から難しい部分もある。
【委員】	小・中学生のときの経験が、将来に影響を与えることがある。学校の図書室を憩いの場と感じた子が、司書を志している。

【副会長】 大人がいなければ開放できないということであれば、図書ボランティアに要請するなどの方法もある。

3 その他

(1) 今後の予定

令和6年度第3回平塚市図書館協議会は、令和7年3月27日（木）14時30分から16時、平塚市中央図書館3階ホールで開催予定。改めて通知する。

閉会